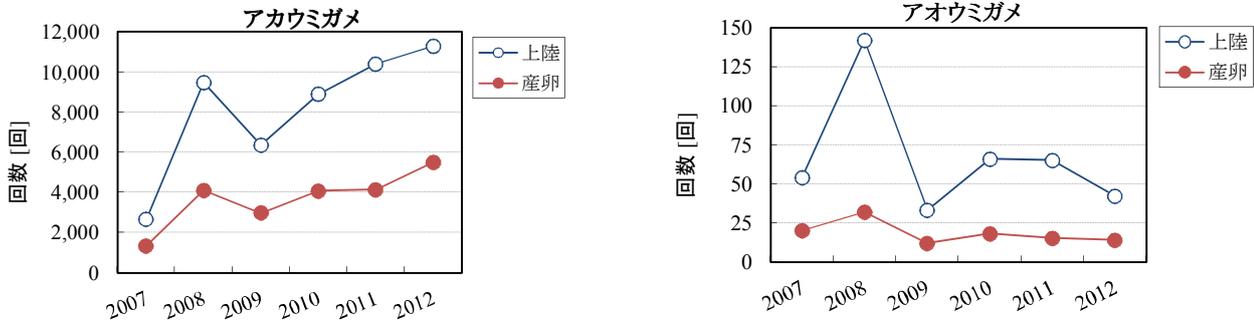
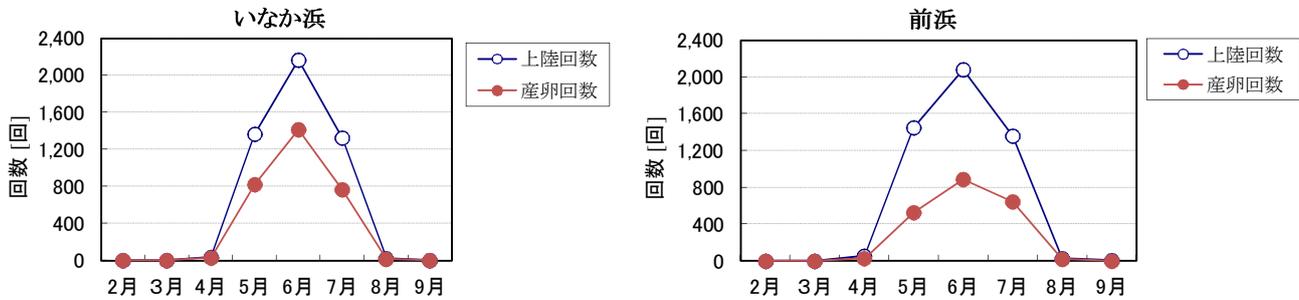


2012年ウミガメの上陸・産卵・ふ化状況に関する資料 (NPO法人 屋久島うみがめ館)

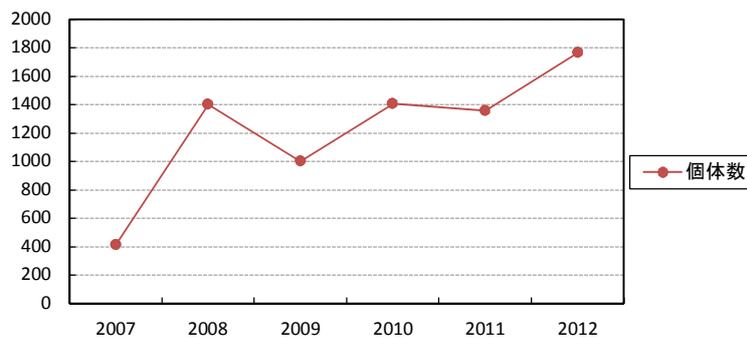
永田地区における過去5年間のウミガメの上陸・産卵状況
(※永田地区:いなか浜、前浜、四ツ瀬浜、川口浜)



いなか浜・前浜におけるアカウミガメの月別上陸・産卵状況(2012年)



永田地区で確認されたアカウミガメの個体数(2006年～)



上陸して消波ブロックや岩場にはまったウミガメの数
(永田地区・一湊地区)

	頭数	処理
5月	7	救出 7頭; 死亡 0頭
6月	31	救出 30頭; 死亡 1頭
7月	9	救出 9頭; 死亡 0頭
合計	47	救出 46頭; 死亡 1頭

流出直前の卵の保護数

(いなか浜・前浜)
合計 1,397個

流出卵数

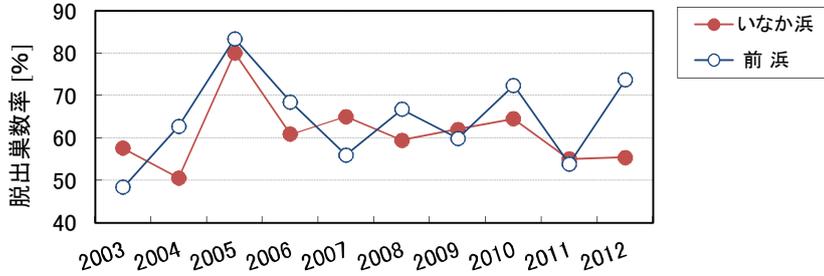
(いなか浜・前浜)
※台風による被害
流出卵推定数千個

用語説明

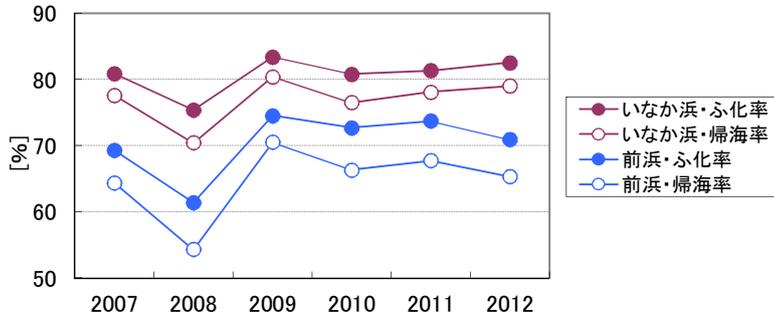
ふ化: 卵から体全体が
 孵ること
 帰海: 地上に出ること

ふ化率: 巣の中で、どれくらいふ化しているか(=ふ化卵殻数/卵数)
 脱出成功率: ふ化した子ガメのうち、無事に帰海できた子ガメの割合
 脱出巣数率: どれくらいの巣で脱出が確認されたか(=脱出巣数/産卵巣数)
 帰海率: 生きて巣を出た子ガメがどれくらいいるか
 (=ふ化卵殻数-地中の死幼体数)/卵数
 全巣の帰海率: 産卵された全ての卵の帰海率(=脱出子ガメ総数/浜内の全卵数)

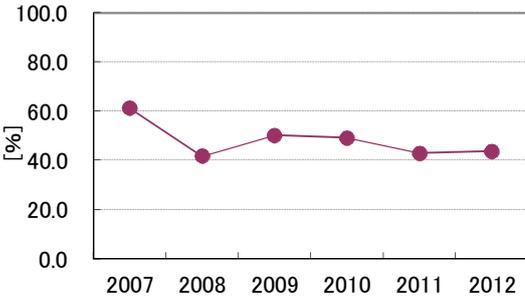
いなか浜・前浜の脱出巣数率の推移(2003年～)



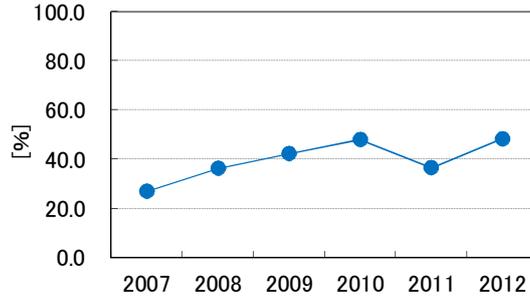
いなか浜・前浜のふ化率と帰海率(2007年～)



いなか浜の全巣の帰海率(2007年～)



前浜の全巣の帰海率(2007年～)



2012年夜間臨時開館入館者数(8/1～8/31)

	大人				子供				合計
	一般	島内 出郷者	再入館	ノーチケット	一般	島内 出郷者	再入館	ノーチケット	
入館人数	1,089	48	64	19	178	64	5	0	1,467

※これらのデータを無断で使用することを固く禁じます。

2013. 2. 25 永田浜ウミガメ保全協議会資料（屋久島うみがめ館 2012 年調査報告書より抜粋）

[上陸・産卵回数調査]

- ① 永田地区におけるウミガメの上陸状況は、アカウミガメが上陸 11,290 回（産卵 5,511 回）、アオウミガメが上陸 42 回（産卵 14 回）であった。アカウミガメは上陸・産卵回数ともに過去最高を記録した。
- ② 屋久島全体の上陸・産卵回数はアカウミガメが上陸 12,573 回（産卵 6,217 回）、アオウミガメが上陸 117 回（産卵 49 回）であり、永田地区の上陸・産卵回数が島内の上陸・産卵回数の占める割合は、アカウミガメで上陸 89.8%（産卵 88.6%）、アオウミガメで上陸 35.9%（産卵 28.6%）であった。
- ③ 日本全国に上陸したアカウミガメの内、屋久島へ上陸してきた割合は 46.1%（産卵 41.2%）であり、永田地区へ上陸してきた割合は全国の 41.4%（産卵 36.5%）であった。2011 年に比べ九州南部のアカウミガメの上陸回数が大幅に増加したため、屋久島が占める割合も、永田地区が占める割合もそれぞれ大きく低下した。

[子ガメのふ化・脱出調査]

- ① いなか浜と前浜を合わせた脱出巣数は保護柵内 1,046 巣、保護柵外 2,202 巣、脱出巣数率は保護柵内 70.7%、保護柵外 59.8%であり、脱出巣数率は保護柵内が高い結果となった。
- ② いなか浜と前浜では、浜間のふ化率に顕著な差（11.6%）が見られ、いなか浜の方がふ化率、帰海率、脱出成功率が高かった。
 - ・ 脱出巣数率（子ガメが脱出した巣が全体の産卵巣に占める割合）は、いなか浜 55.4%、前浜 73.9%で、2011 年よりいなか浜では 0.5%上昇、前浜では 20.0%と大きく上昇した。
 - ・ 浜内すべての卵の帰海率（卵の数の内、子ガメが巣穴から脱出した割合）は、いなか浜 43.8%、前浜 48.3%で 2011 年よりいなか浜は 0.8%、前浜は 11.7%上昇した。
- ③ 踏圧死が確認されたのは浜への出入り口がある A 地区ハッピー下など、いなか浜・前浜を合わせて 84 巣であった。しかし、実際にはさらに多くの巣で踏圧死がおこっていると思われる。また、ボランティア調査員不足により、産卵回数が増加しているのに対し移植数は年々減ってきている。踏圧死の巣をなくして、脱出巣数率を上げるためには保護柵を産卵シーズン初期（5 月初旬）より設置し、人通りの多い地区の移植を率先して行うことに加え、夜間以外にも浜への立ち入り規制を行うことが望ましいと考える。

いなか浜は、今年 A～B 地区の浜の出入り口付近に保護柵を新たに設置した。A～B 地区は保護柵内外ともにふ化率・帰海率が上昇した。特に、人通りが多く今年初めて保護柵を設置した A 地区は、ふ化率が昨年よりも全体で 4.3%上昇した。昨年、A 地区は他の地区に比べてふ化率が低かったが、今年は他の地区と大きな差がみられず、保護柵拡大の効果が表れたと考えられる。

[夜間臨時開館について]

8 月の夜間臨時開館は、2011 年はボランティアスタッフ不足のためお盆の 3 日間しか行われなかったが、2012 年は例年通り 8 月 1 日～31 日まで行い、入館者数は 1,467 名であった。

※当法人による使用許諾を得ずに、上記調査データを無断で利用、転載することを禁止します。